平成28年度 福井県立清水特別支援学校スクールプラン

校訓、教育目標

げんきに　なかよく　わたしらしく
一人一人の可能性を伸ばし、社会の中でその子らしく生きていく力を育てる。

教育方針

○小学部・中学部・高等部の役割とその一貫性を踏まえながら教育活動の充実を図る。
○児童生徒の意欲や充実感を大切にし、発達や実態に応じた教育内容と指導や支援の在り方を追求する。
○一人一人のニーズに応じるために家庭や地域、教育・医療・福祉・労働等の関係諸機関との連携を深める。
○地域との交流を積極的に進め、児童生徒が豊かな地域生活を送れるように働きかける。
○教職員の資質と指導力の向上を目指し、研修や研究活動の充実を図る。
○教職員の知識・技能や施設・設備を生かした地域における特別支援教育のセンターとしての役割を果たす。

多忙化解消の取組（業務の改善）
校内LANの利用促進や各種委員会の開催日時の効率化、一斉退勤日実施

人権教育の推進
人権意識や教育に関わる事例について共有し、人権を尊重した教育の充実に取り組む。

重点目標

1 教育課程・学習指導・研修（共通項目）
（教育研究部･学部）

授業改善に取り組む。

具体的取組

a キャリア教育の視点を活かし、一人一人の自立を目指したねらいや支援を考える。

目標：指導の見直しと授業改善。85%以上

2 生徒指導（共通項目）
（生活指導部）

児童生徒が健康で安全な学校生活を送ることができるよう支援する。

具体的取組

a ヒヤリハットの事例やアクシデント報告などを活用し、健康で安全な環境作りに努める。

目標：教職員間の情報の共有化により事故等を未然に防ぐ。80%以上

b 保護者と連携しながら、自分の体や健康を意識できるよう児童生徒一人一人に合わせて支援する。
目標・保護者と情報を共有しながら、健康の保持のため児童生徒一人一人に合わせた支援を行う。75%以上

3 進路指導（共通項目）
（支援部）

卒業後の生活を見通して、在学時から必要な支援を行う。

具体的取組

a 卒業後の生活を考えていくために、保護者一人一人のニーズを確認し、情報提供や啓発など必要な支援を行う。

目標：保護者一人一人のニーズを確認して、それぞれに必要な進路支援を行う。80%以上

4 支援（独自項目）
（支援部）

清水特別支援学校ぽかぽか発達支援センターの業務を推進し、センター的機能の充実を図る。

具体的取組

a 地域の特別支援教育推進に努める教員育成のために、本校のセンター的機能に関する取組を研修として活用する。

目標：センター的機能に関する研修や取組に年３回以上参加。80%以上

5 地域との交流（独自項目）
（小・中・高）

交流及び共同学習において児童生徒が、地域の人と関わりながら活動できるようにする。

具体的取組

（小） 本校と交流相手校の目標に沿った交流及び共同学習を実施する。
目標：双方の目標に沿った交流及び共同学習の実施。75%以上

（中） 総合的な学習の時間に生徒が交流相手と関わりながら活動できるよう工夫する。
目標：関わりを持てる活動の実施。80%以上

（高） 生徒が地域の人と関わりながら活動できるよう支援方法を工夫した交流及び共同学習を実施する。
目標：支援方法を工夫し関わりを持つことができる活動の実施。　80%以上